

平成 30 年 5 月 17 日

簿記検定試験都道府県本部校
高等学校長様

公益財団法人全国商業高等学校協会
簿記研究部長 昼間 一雄

平成 31 年度以降の簿記実務検定試験の出題内容の変更について（通知）

平素より本協会簿記実務検定試験等の諸事業につきましては格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成 30 年 3 月 18 日に実施の平成 29 年度簿記教育研究協議会でご報告いたしました、平成 31 年度以降の簿記実務検定試験の出題内容の変更について、この度正式に決定事項となりましたのでご通知いたします。詳細につきましては、別添文書をご確認いただきますようお願いいたします。

また、全国高等学校簿記コンクールについては、同研究協議会で報告のとおり、今年度より出題内容が変更となっております。詳細につきましては、同梱の簿記検定ニュース第 89 号をご覧くださいませようお願いいたします。

なお、お手数をお掛けいたしますが、関係学校にご連絡のほど重ねてよろしくお願い申し上げます。

別添文書につきましては、全商協会ホームページにも掲載いたします。

今後とも当協会の諸事業にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 31 年度以降の簿記実務検定試験の出題内容の変更について

公益財団法人全国商業高等学校協会
簿記研究部

全商簿記実務検定試験出題範囲の変更について

現在発行されている「財務会計Ⅰ」「原価計算」の教科書において、新たに変更となった箇所において、出題範囲と勘定科目表の変更をいたします。

簿記実務検定試験出題範囲の変更箇所は次のとおりです。

< 1 級会計 >

- (2) 取引の記帳 シ. 株式会社会計 「減債基金」を削除
- (4) 決算 ア. 決算整理 「棚卸減耗費」を「棚卸減耗損」に変更

「減債基金」については、教科書に例示がなくなったため削除いたします。また、「棚卸減耗損」は、発行される「財務会計Ⅰ」と「原価計算」の教科書において、「棚卸減耗損」と「棚卸減耗費」とに表記の差が生じたためです。

各級の勘定科目の変更箇所は次のとおりです。

< 1 級会計 >

- カ行 「減債用××預金」を削除
- タ行 「棚卸減耗費」を「棚卸減耗損」に変更

< 1 級原価計算 >

- タ行 「棚卸減耗費」を「棚卸減耗損」に変更

この変更につきましては、平成 31 年度第 88 回簿記実務検定試験より適用いたします。

内 容	3 級	2 級	1 級 (会計)
(5) 企業会計の基礎			ア. 企業会計の目的 イ. 会計法規と会計基準 ウ. 財務諸表の種類
(6) 資産の評価			ア. 評価の基準 イ. 資産の評価法
(7) 損益計算			ア. 損益計算の基準 イ. 営業損益 ウ. 営業外損益 エ. 特別損益
(8) 連結財務諸表			ア. 連結財務諸表の目的と連結の範囲 イ. 連結財務諸表の作成
(9) 財務諸表の活用			ア. 財務諸表の意味と見方

内 容	1 級 (原価計算)
(1) 原価と原価計算	ア. 原価の概念と原価計算 イ. 製造業における簿記の特色と仕組み
(2) 費目別計算	ア. 材料費の計算と記帳 イ. 労務費の計算と記帳 ウ. 経費の計算と記帳
(3) 部門別計算と 製品別計算	ア. 個別原価計算と製造間接費の計算 (製造間接費差異の原因別分析 (公式法変動予算) を含む) イ. 部門別個別原価計算 (補助部門費の配賦は、直接配賦法・相互配賦法による) ウ. 総合原価計算 (月末仕掛品原価の計算は、平均法・先入先出法による) (仕損と減損の処理を含む)
(4) 製品の完成・ 販売と決算	ア. 製品の完成と販売 イ. 工場会計の独立 ウ. 製造業の決算
(5) 標準原価計算	ア. 標準原価計算の目的と手続き (パーシャルプランによる記帳を含む) イ. 原価差異の原因別分析 ウ. 損益計算書の作成
(6) 直接原価計算	ア. 直接原価計算の目的 イ. 損益計算書の作成 ウ. 短期利益計画

